



2歳児になり、遊び方にも変化が見られるようになってきました。今日は子ども達の模倣の力についてご紹介したいと思います。月齢差や個人差などありますが、大体生後9か月頃から模倣が始まると言われており大人の声や表情、動きを読み取るようになってきます。1歳頃になると、見立て遊びや模倣遊びが見られるようになり、2歳頃からごっこ遊びへと発展していきます。

★ミルク飲ませてあげるね！

ぬいぐるみを優しく抱っこして、センサーボトル(視覚等の感覚を刺激する玩具)をミルクに見立てて飲ませています。最近はこの姿が多く見られています。小さい子のお世話ごっことしてよく初めに見られているような気がします。数年前は自分がその立場だったと思うとほほえましいですね😊



★泣いてるの？大丈夫だよ！

ひよこ組のお友達が泣いています。するとパペットのぬいぐるみに手をいれてあやしていました。何やらパペットになりきってお話している様子。すると他の子も真似っこをして、違うパペットを持ってきてひよこさんをあやしています。ひよこ組のお友達の涙も止まったみたい❤️

★絵本～絵本～静かにみましようね♪



絵本を一生懸命読み聞かせしています。保育者が大勢の子ども達に向けて読むときはこの持ち方をするのできとその真似でしょうね😊 ページをめくるのも一苦勞ですが、ない切ってお歌も歌っています。

模倣遊びが見られるようになる過程では、「**他者の動きをよく観察する**」「**自分に置き換えて考える・動く**」という力が必要になります。ミルクをあげたり、あやしたり、読み聞かせをしたり。下の兄弟がいる子はお家で、いない子はきっと園で保育者が行っている様子を見て真似ているんだなあとと思います。また、異年齢の子も大きな存在です。遊びの真似をしたり、憧れの存在になり難いことにも挑戦したり。園ならではの模倣となりますね。もう少し年齢が上がってくると、「きりんさんみたいにあの楽器やってみたい！」「サッカー頑張りたい！」と**原動力**にも繋がっていきます。昨年度の年長児も4歳児の時に、年上の園児の活躍を目の当たりにし、「きりんさんみたいになりたい！」といつもきりんさんを目標にしている姿がたくさんありました。模倣の力というものは、**コミュニケーション力**や、**原動力**など様々な方面へと広がっていく力です。ぜひ大切にしたい力ですね。

★いらっしゃいませ～！

こども園での園庭では「アイス屋さん」が大盛況。この場面では、ぼんび組のお兄さんがリーダーのようでした。お兄さんの真似をして「いらっしゃいませ～！」「何味がいいですか？」異年齢から得た模倣ですね♪

